

# 木津神地区 地域福祉活動計画

## 1. 地区の概要

地区人口	2, 688人	民生委員児童委員	5人
65歳以上人口	836人	幼稚園・保育所 認定こども園	0か所
高齢化率	31.1%	小・中学校	0校
年少者(0～14歳)人口	307人	令和4年3月31日現在	
人口の増加	△4.1ポイント	鳴門市全体の数値	△6.8ポイント
65歳以上人口の増加	4.6ポイント		2.6ポイント
年少者人口の増加	△8.4ポイント		△15.3ポイント
高齢化率の増加	2.6ポイント		3.3ポイント

※ 数値は平成30年から令和4年までの間の増減を表しています。

## 2. 地区の現状と課題（地域座談会で出た意見などをまとめています。）

- 個人情報保護の意識が高くなり、人とのつながりを作ることが困難になってきている。
- 自身の生活に精いっぱい、地域活動に参加する余裕がない人が増えている。
- 高齢化と若い世代の無関心の両面から、町内会活動が縮小してきている。
- 地域活動に対する意識の差があり、活動の主体となる世代の交代が進まない。
- 防災意識の低下からか、訓練への参加率が低下している。
- 婦人会活動が盛んであり、地域の高齢者等への支援が出来ている。
- 地域の祭りで、子ども屋台の担ぎ手として若い世代を確保する取り組みを行った。
- 子ども会で「観音踊り」に参加している。
- 各種のニュースポーツで子どもたちを含めた三世代交流に努めている。
- 若い世代の住民間でSNSを活用した「ゆるやかな絆」が出来てきている。

### 3. 地区で取り組むこと

#### 若い世代の地域活動への参加

1. コロナ禍で開催できていなかった「こんぴら相撲大会」「観音踊り」「夏の夕べ」など昔からの行事を再開し、子どもたちを含めた世代間交流や地域活動参加へのきっかけとしていく。
2. 他地域の成功例を参考にしながら、ある年齢に達したら、親世代が地域活動から退き、現役世代に引き継いでいく仕組みづくりに取り組んでいく。
3. グラウンドゴルフやニュースポーツを通じた世代間交流行事を継続して開催していくなど、できることを見つけて取り組んでいく。

#### 地域と学校などとの連携による子育て支援の仕組みづくり

地域活動の団体が入学式や卒業式、運動会などの行事に参加して交流を深めるとともに、学校や幼稚園の教職員も地域活動に関わってもらえるような働きかけを行い、学校などを通じた接点を持てるように活動していく。

#### 防災意識の維持と向上に向けた取り組みの推進

1. 災害時における機材貸出しの申し出があった企業との協働による防災訓練を行うなど、新たな視点からの取り組みを行うことで、地域住民に興味を持ってもらうきっかけにする。
2. 地域で実施する他の行事やお祭りに合わせて防災訓練や啓発事業を行い、災害について身近に感じてもらうことで日常的な防災意識の向上が図られるよう取り組んでいく。

